

「新しい生活様式」に対応した道路環境整備事業(R3～R4)

新型コロナウイルスの感染拡大により、密を避ける「新しい生活様式」が浸透し、徒歩や自転車による移動ニーズが高まりました。

このため、県では安全で快適な移動空間づくりを目指し、道路の環境整備を行いました。

施策－1 安全な歩行空間の確保

75箇所
で実施

徒歩による利用が多い身近な道路で、歩行空間の整備や、歩道舗装の再整備を行い、歩行者の安全性が向上しました。



県道川上菊川線(菊川市)



県道袋井大須賀線(袋井市)

施策－2 安全な自転車走行空間の確保

39箇所
で実施

自転車による通勤・通学経路となる駅や高等学校周辺の道路で、路肩拡幅などによる自転車走行空間を整備し、自転車の利用環境を改善しました。



県道須走小山線(小山町)



県道伊久美藤枝線(藤枝市)

施策－3 通行空間の改善 (防草対策)

107箇所
で実施

身近な道路や観光地周辺の道路の防草対策を実施し、視認性の向上、快適な通行空間の確保、美しい景観を維持するなど、道路環境を改善しました。



国道150号(焼津市)



県道川根寸又峡線(川根本町)